



日・ASEAN 友好協力 40 周年記念事業

チャイルド・エイド・アジア 2014



開催報告書



この事業は、競輪の補助金を受けて実施しました。
<http://ringring-keirin.jp>



【企画・製作・主催】

Little Creators

<http://www.littlecreators.jp/> <http://www.childaidasia.com/>

チャイルド・エイド・アジア 2014

公演概要

日時： 2014年1月11日(土) 18:00-20:20

会場： サントリーホール 大ホール

パートナー： The Old Parliament House Limited / CHIJ (Kellock) /
The Smile Team / Option Dot

後援： 在日本シンガポール大使館 / 在日本マレーシア大使館
在日本インドネシア大使館 / (一社)日本シンガポール協会
The Business Times Budding Artists Fund /
The Little Arts Academy The International Young Artist Exchange
Singapore International Foundation / Far East Organization
Child Aid Asia Fund @ KL

協力： スタインウェイ・ジャパン株式会社 / 東京都石神井学園/聖園子供の家
CHIJ (Katong) Primary School / KOBUDO -古武道- (ホリプロ)

フード・スポンサー： SAKANEKE & Co.

協賛： 株式会社メニコン

助成： 公益財団法人JKA



オフィシャル・スポンサー： ゲンティン・シンガポール



特別協賛： セレボス パシフィック リミテッド



写真： 高橋正美 / 池上直哉

チャイルド・エイド・アジア 2014 開催の成果

■ 若い才能の発掘

『チャイルド・エイド・アジア』は、競輪の補助金を受けて2011年より開催、3回目となる今回は、セレスパシフィック リミテッド社の協賛によりサントリーホールで開催することになりました。クラシック音楽の殿堂であるサントリーホールのステイタス、またストーンウェイ・ジャパン株式会社の協力により、8月4日に行われたオーディションには多くの若い才能が集まり、ジャンルも尺八、バイオリン、ピアノ、フルート、エレクトーン、ボーカル等幅広く、バラエティにとんだコンサートの構成が可能になりました。

オーディション合格者の中から、新井龍飛君（ピアノ）は本コンサートに先立って行われたシンガポールの「ChildAid」（2013年12月6日-7日 マリーナ・ベイ・サンズで開催）に出演し、シンガポールのピアニストとともにモーツァルトの「2台のピアノのための協奏曲」



を演奏して喝采を浴び、1月のサントリーホールでも同じ演目を演奏しました。また、本コンサートでマレーシアのチェリストと競演した中島麗さん（尺八）と北村明日人君（ピアノ）はこの夏に開催されるマレーシアのChild Aid Asia@KL（2014年8月29日-31日 KLPACで開催）に招聘されています。

■ シンガポール、マレーシア、インドネシアとの交流

総勢126人の出演者のうち、53人はシンガポールから、マレーシア、インドネシアからも1人ずつ参加者を迎えました。いろいろな言語が飛び交う稽古場や本番の舞台裏で音楽を共通語にネットワークが作られ、オープニングとフィナーレでは日本語と英語でテーマ曲を合唱し、1つの大きな家族ができました。

今回特徴的だったのは、レパートリー演奏ではなく、国を越えたコラボレーションの演目を多く企画したことです。まだ出会わぬうちから、それぞれが演奏曲を練習して、コンサートの数日前に東京に集まり稽古を重ねました。感性を研ぎすませながらお互いの音を楽しんで作品を作る過程は、どの子どもにも刺激的だったようです。



インドネシアの参加者が伝統楽器ササンドの奏者であったこともあり、子どもたちの間で各国特有の楽器や伝統楽器、すたれつつある楽器や音楽への興味がわきました。これは子どもだけでなく、各国でコンサートを企画する大人にも刺激になり、今後のコンサートの構成に影響を与えそうです。

コンサートの翌日 12 日に児童養護施設・東京都石神井学園で行われた交流会では、子どもたち皆と一緒に踊り、歌い、羽子板や独楽回してますます交流を深めました。1 年ぶりに再会を果たした子どもたちが歓喜する姿は、1 回目のコンサートから続くこの草の根交流会の重要性を痛感した瞬間でもありました。

■ 社会的ハンディのある子どもの参加、福島の子どもの観覧

本コンサートには児童養護施設・東京都石神井学園の子ども 15 人がオープニングとフィナーレに出演しました。うち 1 人（15 才）は司会に挑戦、始めこそ緊張していたものの大役を立派に果たしました。同じく司会を担当したシンガポールの男子（10 才）は経済的に厳しい環境におかれ、ビジネス・タイムズ・パディング・アーティスト・ファンドの助成を受けてリトル・アーツ・アカデミーでダンス等のアート教育を受けています。幼きイエス会ケロック小学校合唱団の一員として来日した 1 人の女の子も同じ境遇です。



『チャイルド・エイド・アジア 2011』に出演後、シンガポールでの「ChildAid」に出演し才能を見いだされた和田明佐美さん（バイオリン）。当コンサートでは、昨年夏に NPO リトル・クリエイターズとインターナショナル・ヤング・アーティスト・エクスチェンジの助成で 40 日間シンガポールへ音楽・語学留学を行ったことが映像で紹介され、上達した腕前を披露しました。



また、児童養護施設聖園子供の家の児童を対象に行った美術ワークショップの作品を本コンサートで紹介、作品のコラージュしたポストカードを会場で募金をして下さったお客様にお礼として配布しました。中にはハガキが欲しいからと募金をして下さった方もいらっしゃいます。この募金は、次年度のワークショップの材料費用等に活用いたします。

さらに、ゲンティン・シンガポール社の協賛により福島県相馬市、南相馬市の子ども 24 人（付き添いの大人を入れると 32 人）をコンサートに招待することができました。コンサートを楽しんだだけではなく、東京タワーやナンジャタウンの観光等、1 泊 2 日の東京の旅を満喫し

ました。

NPO リトル・クリエイターズは、音楽や美術等のアートが人が自分を表現をするのに必要なツールの1つととらえ、社会的ハンディがあるという理由でアートを子どもから奪ってはいけな
いと考えています。今後も社会的ハンディのある子どもにもチャンスが与えられるように活
動を続けたいと思います。

■ 支援の輪の広がり

3回目となる『チャイルド・エイド・アジア』で過去最多の約 1600 人のお客様を迎えるこ
とができました。光栄にも秋篠宮妃殿下にご臨
席賜り、内閣総理大臣安倍晋三氏からはビデ
オ・メッセージ、内閣府大臣政務官兼復興大臣
政務官小泉進次郎氏からも祝電を頂きました。
本コンサートと NPO リトル・クリエイターズ
の活動が多くの方々に認められてきた証であ
ると感謝するとともに、アジアの子ども、恵ま
れない環境に育つ子どものためにますます活
動を頑張っていかなければと感じています。



コンサートをご覧になったお客様から、児童養護施設の子どものもっと舞台にふれる機会をも
てるようにとご寄付を賜りました。今夏をめどに観劇会を企画しています。

また、出演した児童養護施設の子どもの舞台衣装をと、ご自分の手で衣装を縫って下さった方
もいらっしゃいます。手作りのぬくもりは何ものにも代え難く、特に、親と一緒に暮らせない
子どもにはあたたかく思えるのか、コンサート翌日の交流会でも着ていました。

文京大学、芝浦工業大学の学生の皆さん、過去の出演者やその父兄、多くの方がボランティア
で本コンサートを支えて下さいました。

2014年5月24日には、チャイルド・エイド・アジアのOG、OBがティアラこうとうで
リサイタルを催します。収益はNPO リトル・クリエイターズの活動に寄付したいとのことで
す。参加した子どもたちに事業の趣旨や意義が浸透していると感じ、これほどの喜びはあ
りません。地道に活動を続けてきた成果だと思えます。

■ 次回のコンサート

次回は2015年1月に、できれば招待国をもう一カ国増やして開催したいと計画中です。

◎尺八とピアノとチェロのコラボ最高！Ong Yi Ting のフルート上手!! 素晴らしい!! バラエティに富んだプログラムで楽しかった。正面の画面にシンガポールの歌の訳が出ると、歌詞の意味がわかってもっと楽しい。毎年レベルが上がって、音楽会として十分楽しめた。合唱のコラボが素晴らしかった。インドネシアのササンドも三味線とのコラボも良かった。ササンドをもう少し詳しく紹介してほしいかった。アニャーニャとコレイの歌をもっと聞きたかった。アニマト・クワッドが楽しい!!

◎幼きイエス会カトン小学校舞踊団のハナさん、ジェシーさん、田園調布雙葉小学校での交流、とても楽しかったです。お二人のこと、忘れません。なので、ハナさん、ジェシーさん、私達のことも忘れないで下さい。私達はちがう国に住む者だけど、あの小 1 時間できっと友達になれたと確信しています。私達は永遠の友達だよ。I am Yumeko. See you again! Me & You Friends! I like Hana & Jechi. 一期一会。(神奈川 11 才 F)

◎今年のコンサートのレベルがとても高く、感激しました！ 特に、「マレーと日本の花」の編曲合唱、ササンドと三味線のコラボが良かったです。アニマト・クワッドもたのしかったです。でも、どのパフォーマンスもすばらしく、もっと聴いていたかったです。(東京都・F)

◎素晴らしい！モニターで手元を映して欲しいです。右側からは見えなくて残念。(神奈川 33 才 F)

◎国際交流が、ぼくはもっとも大切にしている事で、国際交流がなかなか出来ないぼくには、とてもうらやましく思いました。小さい時から英語を学び、友達もたくさんつくりたい。ぼくには友達がいません。音楽を通して友達ができるってすてきだと思いました。ぼくも、トランペットを今はがんばっているの、それで、友達が出来たらと思います。このコンサートは、ぼくにとってもゆうきをもらえてうれしかったです。また来たいです。(埼玉 13 才 M)

◎国がちがっても、くるしみやかなしみはみんながもっていて、その中でも、小さい子はかわいくヤンチャな子もいる。世界は一つだってことをあらためておそわりました。ありがとう。(埼玉 41 才 F)

◎たいへんすばらしいコンサートでした。歌も演奏もとてもよかったです。ぜひ、また横浜や川崎、東京でこのようなコンサートを開催してください。(神奈川 45 才 M)

◎幼きイエス会ケロック小学校合唱団、カトン小学校舞踊団のみなさん、とてもすてきでした。「シンガポールメドレー」大好きになりました。気持ちのこもった歌だなと思いました。私は姉妹校の田園調布雙葉小学校の 5 年生です。これからも姉妹校として応援しています!! はなれていてもずっと忘れないよ。(神奈川 11 才 F)

◎とってもステキな演奏や歌声またカワイイ歌もとてもすばらしかったです。私は、学校で吹奏楽部に入っているので、いつかはみなさんのように舞台上で演奏したいです。私の友達がアルエム弦楽合奏団にいたので初めて見にきました。来年も行きたいです。三味線もすごかったです！（東京 10才F）

◎すばらしい！ありがとう。アジアの平和に願いを託して、世代をこえて頑張りましょう。（31才M）

◎10才くらいの子供たちのパフォーマンスがハイレベルでおどろきました。すてきなステージに感動しました。（東京 40才F）

◎実力派ぞろいの子供達に刺激をうけました。どの子の演奏ももっと聞きたかったです。これからもがんばって下さい。（東京 39才F）

◎4年間シンガポールに住んでいた事もあり、とてもなつかしく、この様な交流はとてもすばらしいと思いました。皆様の演奏や歌もすごかったです。ビックリです。（神奈川 37才F）

◎今日は大変すばらしい演奏を聞いてよかったです。小さい子供達のがんばる姿に勇気をもらいました。これからも努力してすばらしい演奏を聞かせて下さい。応援しています。

◎いろんな楽器の音色が聞いて楽しかったです。（神奈川 10才F）

◎感激致しました。これからは楽しみです。

◎かんどうしました。たのしかったです。Thank You。（東京 6才）

◎本当に感動いたしました!!! これからも皆さん弾き続けて下さいね。たくさん皆様の音楽から気付かされました！大人が、とかは関係ないですね。ありがとうございました。（東京 40才F）

◎コンサート、とてもたのしかったです。またきたいです。ピアノをひきながらおどっているのがたのしかったです。（東京 6才F）

◎素晴らしかったです。子供達の無限の可能性を感じました。是非、この企画を続けて下さい。（東京 44才F）

◎小さい子がすごいからおどろきました。（東京 9才M）

『チャイルド・エイド・アジア 2014』出演者アンケート

- 1.コンサートで一番楽しみにしていたことは何ですか？また、それは実現しましたか？
- 2.一番大変だったこと、努力したことは、何ですか？
- 3.参加して良かったと思うことは何ですか？
- 4.「もっとこうしたらよかった」と思うことはありますか？
- 5.またコンサートに出演するとしたら、次はどんな事がやりたいですか？
- 6.コンサートに出演した感想を自由に書いてください。

日本

■新井龍飛（ピアノ 12才）

1. 憧れているスーパーピアニスト LANG LANG がサントリー大ホールで演奏したことがあるので、サントリー大ホールでの演奏をわくわく楽しみにしていました。本番はとても素晴らしく演奏できたので、まるで LANG LANG になった気分でした。そして全身全霊で音楽を愛している僕は、努力すれば LANG LANG になれると思うようになりました。
2. 連続4日間遅くまでのリハーサルは大変だったのです。病気にかからないように努力しました。
3. 多くの人たちに褒められて、嬉しかったです。特に、スタンウェイジャパンから「素晴らしい演奏を聴かせてありがとう。頑張ってください。など」のお手紙とプレゼントをいただいて、すごく嬉しかったです。共演者のご両親に褒められて、嬉しかったです。シンガポールの4人組のピアニストにハグされて、褒められて、嬉しかったです。大好きな Corey Koh と再会して、一緒に遊んで、嬉しかったです。また、Corey Koh と僕は二人だけインタビューを受けて、嬉しかったです。何より Corey Koh も僕のことを好きなので、すごく嬉しいです。
4. 多くの観客はやはりクラシック音楽が好きみたいです。ですから、僕のソロのモーツァルトまたはベートーベンを聞いていただいたら、もっと感動するでしょう。
5. ぜひ、モーツァルト、ベートーベンをソロで演奏させていただきたい事です。
6. 「素晴らしかった。とてもお上手ですね。感動しました。などなど。」褒められて、とても嬉しかったです。また、一番幸せに思ったのは人に感動を与えたことです。僕はどこで演奏してもいつも褒められていたので、幸せな気分でした。ですから、これから、もっと、もっと、練習して沢山素敵な曲を弾けるように頑張りたいです。

■金井理乃（ボーカル 8才）

1. 今まで経験したことがないくらいのたくさんの方の前で、わたしの作った歌をきいてもらうことです。実現しました。それと、ケロックの子達と歌うことが楽しみでした。
2. どうしたら、お客さんに私の歌の雰囲気や伝わるかを考えながら練習したことです。

3. あんなに大きくてきれいな舞台上、すごくたくさんのお客さんの前でせいいっぱいひろうできたことです。
4. ひとつだけ歌詞をまちがえてしまいました。もっと歌詞の絵を頭に描きながら歌えばよかったです。
5. また新しい曲を作って、今度はいろんな楽器の人達と一緒に歌ってみたいです。
6. すごく大きな舞台だったし、今までで一番大きなコンサートだったから、自分が舞台上に立っているのがほこらしく思いました。次にまた機会があれば、もう一度あの舞台に立ちたいです。それから、ケロックの子達とも仲良くなれてすごくうれしかったです。もう一度交流したいです！

■北村明日人（ピアノ 17才）

1. 外国の方と共演でき、本当にたのしかった。
2. 短期集中的な合わせで、最初のほうはなかなか音楽の形もみえず、言葉も通じないのがたいへんだった。
3. ステージに立っている人がみんな楽しそうで、自分の中でも音楽に対する視野が広がった。
4. もう少し英語をやっていたら合わせも楽だったかもしれない。
5. 国籍の混ざったオケとピアノコンチェルト
6. 改めて音楽の楽しさを知って、視野が広がった気がします。サントリーホールで出来たのはこれから先に無いかも知れないくらい貴重な体験なので、本当に感謝してます！ありがとうございました！

■鈴木美柚（エレクトーン 14才）

1. サントリーホールでの演奏はもちろん、石神井学園や海外の子供たちとの交流を楽しみにしていました。
2. オープニング、フィナーレの合唱の伴奏をさせていただく事になり、アレンジや音作りなど数カ月かかり、本番ぎりぎりでした。でも 150 人？の人たちの伴奏なのでわくわくして、練習も楽しかったです。ソロの演奏では、歴史あるサントリーホールでの大舞台なので、舞台負けしないよう表現力を身につけるよう頑張りました。
3. 日本だけでなく海外の子どもたちと交流できたこと、サントリーホールで演奏できた事は一生の宝物となりました。これからの演奏の幅が広がれば良いと思います。

4. 最初からもっと共演者の方たちと仲良くできたらよかった。ソロ演奏も伴奏でも、舞台の一番奥での演奏だったので少し孤立した感じがしました。本番ソロ演奏時は、舞台メインに椅子や譜面台があり、ちょっと本番とは思えない感じでした。エレクトーンはベース（足）演奏もみてもらいたいのには椅子や譜面台が邪魔になった為、観客席からは見えなかったそうです。残念でした。せっかくのサントリーホール・・・何も無いステージの真ん中で演奏したかったです。心残りです。もっとエレクトーンのことを知ってもらえたらと思います。当日、自分たちの意見が演出等に反映（演奏位置、音響など）できたらと思います。
5. 他の楽器や歌と、コラボしてみたいです。
6. 思いがけずサントリーホールで演奏できることになり、また合唱の伴奏もさせていただき、何かかもが新鮮でした。何かを頑張っていく時、楽しいだけでは過ごしていけないこともありくじけそうになりますが、このような素敵な経験ができこれからの人生において音楽だけでなく色々なことにおいてプラスになっていくのだと感じました。何かに悩んだり、壁にぶつかったときにはこの日のことを思い出して頑張れそうです。普段は、自分の勉強している楽器の演奏を聴く機会がほとんどですが、今回色々な楽器の生演奏を聴くことができ、とても勉強になりました。そして、いろんな環境の子どもたちや異文化の子どもたちと交流することができ自分なりの考えや視野が広がったと思います。今まで支えてくれた先生や、コンサート出演にあたり携わってくださったすべての方たちに感謝の気持ちでいっぱいです。またあの時間に戻れたらいいなあと思います。素敵な時間をありがとうございました。

■中島麗（尺八 17才）

1. 聞いてくれているお客様に素晴らしい演奏を届けること。自分の中ではまだまだ練習不足だと実感しました。もっと練習していつ、どんな時でも感動する音を出せるように練習をして行きたいと思います。
2. 言語。 やはり一番は言葉が通じないことでした。普段私たちは、言葉が通じるから色々なことができているのだと改めて思わせられました。笑っているだけでコミュニケーションはだいたいとれますがその人がどんな人なのか全くわからなかったので英語は勉強しておくべきだと思いました。
3. 何よりサントリーホールという滅多に演奏することのできないホールで演奏出来たというのは私の強みになりました。
4. もっと練習します
5. 次またコンサートに出れるという時は、また別の楽器とコラボレーションするのもいいかと思っています。
6. 今回はこのコンサートに出させていただきありがとうございました。自分にとってとてもいい刺激になりました。一つ気になったのは、本番中の最初の吹き始めは自分の音がよく聞こえていたんですが、百花繚乱の時は音が全然きこえなかったのでマイクがよく通っていなか

ったのかなと思っていました。ですが、コンサート後に自分の先生に聞いたところ、サントリーホールのような大きいホールはお客様が入ると自分の音が聞こえにくくなると言っていたので、そこらへんのこともよく調べておくべきだと思いました。今回は本当にありがとうございました。これで貧しい人達が救われることを願っています。

■本田歌音（フルート 14才）

1. いろんな人に出会って、お友達になれる事を楽しみにしていました。はい。共演者がすべて外国のお友達でした。最初はドキドキしたけど、最後は別れるのがさみしくなるくらい距離が近くなったと思います。
2. 今まで、クラシック音楽（ソロ・ピアノと一緒に）ばかりやっていたので、歌（マイク）との共演が初めてだったので、音のバランスや音楽の出るところを合わせたりするのが難しかったです。でも、最後は共演者みんなの顔を見たり、息を感じて合わせることができてよかったです。リハーサルで楽譜のキーが違っていたから焦ってしまっただけど、本番はうまくいってよかったです。
3. いろんな国のお友達ができたこと。また、共演したいです。日本人のいろんな子どもと違って、彼・彼女たちはいつも自分の音楽を持っていて、いつも本気で音楽と向き合っているけど、音楽を本当に楽しんでいる姿にびっくりしました。クラシックばかりやっていると、難しい曲を攻略するみたいな感じになってきて、最近は音楽が楽しくなかったから、今回、みんなと一緒に演奏するうちに『音楽って楽しい』『愛がある』とか、いろんな大事なことを思い出しました。そして、やっぱり『聴いている人を幸せにする演奏家』になりたい！！って思いました。コンサートで一緒だった人、みんなありがとうございます！！
4. リハーサル以外にも、本番当日にピアノと合わせの練習をしてもらったりしたけど、なんとなくいつもと違う編成だったり、慣れないことがあったので、今度はもっと、いろんなことが余裕をもって、表現できるようになりたいと思いました。
5. 私はバレエも3歳からやっているの、アニマト・クアッドの演奏で踊りたいです。アニマト・クアッドのお兄さんたちとピアソラとか一緒に演奏したいです。邦楽の人たちともコラボレーションしてみたいです！！でも、イー・ティンちゃんとも一緒に演奏したかったです。また会いたいです。オカリナも演奏したいです。次もオーディションを受けたいです！！
6. すごく楽しかったです。みんなから、とっても大きなエネルギーやパワーをもらいました。最初は、みんな外人さんばかりでリハーサルのお部屋に入るのも緊張したし、演奏も緊張したけど、コンサートが終わっちゃってお別れの時にはなかなか離れたくなくなっていました。もっともっと英会話を勉強して、いろんなお話が出来るようになりたいと思いました。今、ちょっとクラシック音楽やってきて難しいことばかりになってきたから、フルートがちょっとキライになりそうだったけど、いろんな国に住んでいる人達も同じ楽譜を見て、練習して、演奏して、集まって音楽を作ることが出来て感動したし、『音楽って人を幸せにするんだ』という事にも気付くことが出来ました。それから、私も演奏することで楽しい気分になったり、緊張したり、達成感が出来たり、幸せになりました。当日は関西に住んでいるお

ばあちゃんや、九州から親戚のおばちゃんが聴きに来てくれました。サントリーホールみたいな大きなホールで、やっぱり生演奏で聴いてもらいたかったから、嬉しかったです。みんなの産まれた国に行って、また一緒に音楽を作りたいです。最後に、コンサートを作ってくれたすべての人たちに感謝します。ありがとうございました。わたしも頑張っって毎日練習しています。みんなにもよろしく伝えてください。

■矢口桃子（ボーカル 14才）

1. 友達をつくり、海外に行きたいなと思っていました。
なので、沢山の友達が出来、とても嬉しかったけど、海外には行けなかったのも、また機会があったら、行けるように頑張ります。
2. 歌う曲のイメージや、歌い方、発声など、沢山練習しました。
ここにはいない合唱団の人たちの事を、いると思って想像して歌ったりもしました。
でも現実には、一緒に歌う人たちと、合わせるのがとっても難しく、会話も出来なかったのも、とても大変でした。
何度も何度も合わせたけれど、難しかったです。
しかし、ジェスチャーや表情で会話できるように努力して、沢山の人たちの協力によって成功したので、良かったです。
3. 子どもでもプロと呼べる実力ある人たちの中で、一緒に参加出来るととても勉強になったし、楽しかったです。
会話が出来なくても、心で通じあえたので、嬉しかったです。
4. もっとコミュニケーションをとってみんなと話したかったです。
ここ数カ月、英語を頑張っって勉強したけれど、会話出来ませんでした。
夢は世界の歌手なので、今から勉強してまた会える機会があったら、その時はコミュニケーションをとれるよう、頑張ります。
5. 今回は一人で歌ったり、合唱団の人とも歌えてよかったので、それもやりたいけれど、次はピアノ以外の楽器と合わせて、やってみたいと思います。
6. あんなに大きなホールで、沢山のお客様の前で歌えて、とても幸せな体験をさせて頂きました。
そして困っていた時、沢山の方が協力してくれました。本当に感謝しています。
また違う国の子たちと、いい演奏が出来たので、嬉しかったです。
色々勉強になりました。
それを今後生かして、世界に羽ばたけるよう、もっともっと頑張りたいです

■鈴木雄司（津軽三味線 17才）

1. 色々な国の人との交流とマレーシアで出会った人達との再会が楽しみでした。たくさんお話はできませんでしたが、写真をとったり少しコミュニケーションをとることができました。何より自分を覚えてくれていてとても嬉しかったです。
2. 自分が伝えたいことが相手にうまく伝わらない事が大変で苦労しました。やはり英語は大切だと感じました。しかしその中で笑顔と音楽だけは言語は違っても、通じ合えるものがあると実感しました。
3. すばらしい舞台で演奏できたことです。今まで味わったことのない三味線の音色、そして三味線とは別世界の楽器との共演。なによりたくさんの方々から生の音を聞いてもらえてよかったです。
4. 外国人とのセッションはあってもよかったのですが、日本人とのセッションがなくて残念だった。一曲、日本人だけの演目があってもいいと思う。海外のお客様、パフォーマンスを「おもてなし」という感じで一曲なにかやりたかった。
5. 今回、全員がセッションするという形は良かったと思う。欲を言えば、複数名でセッションするという事ができたらきっと、出演者が交流をさらに深められると思うし、新しいものが作りだせる気がします。
6. 一回目からかわって来たおかげか、自分の演奏にしか目に向けていなかった自分が、今回は『チャイルド・エイド・アジア 2014』をみんなで作るという考えをすることができました。自分の演目でどんな風に全体をつくりあげているのか、自分がお客さんからどう見えて何を感じさせているのか、色々考えることができました。大きな舞台をみんなで作っていき喜びや楽しさを思うぞんぶん味わうことができました。

■和田明佐美（バイオリン 15才）

1. アジアの交流が出来ること。明佐美の成長を見守って下さる方々へお見せできる事。
2. 曲の完成度を高めること
3. 新たに国境を越え沢山の友達、絆ができたこと。皆様に成長を見て頂き喜んで頂けたこと。
4. 日本人だけでも、オープニング等、全体で歌う練習などを、年明け前に一度行い、当日までの流れをつかみ取組むこと。それにより、タイムスケジュールやリハーサル日程を、お知らせができ、漏れがなくなる事につながる。顔合わせにもなる。
5. バレエ、ダンスや動きのあるものとの共演、カルテットなど

■すすかけ児童合唱団

◎団長

1. 外国の子供たちと一緒に歌うことです！
2. 本番の日には、シンガポールの合唱団の練習に飛び入り参加して、ハーモニーがきれいになるよう歌い方を変えました。
3. アジアの子供たちの色々な才能を直に見れたこと。すすかけにとっても言葉の違う合唱団と合唱を作り上げていくのはいい経験になりました！
4. シンガポールの合唱団ともっと交流する時間をもちたかったです。英語がもっと話せたら交流の幅が広がったかもしれない…と思いました。
5. 他の国の合唱団が日本の童謡を歌って、すすかけがその国の民謡を歌えたら楽しそうと思います！歌い方とかを教えあったりしたいです。
6. 大変だったけれど、とても楽しかったです。すてきなコンサートに呼んでいただき本当にありがとうございました♪

◎式井綾乃

1. 英語を使うこと。わずかだが実現した。
2. 笑顔で歌うことに努力した。
3. 参加しなければ出会はずのなかつた方々に出会うことができたこと。
4. てきぱきと行動すること。
5. 日本の童謡を紹介したい。
6. とても貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

◎吉元マリア（5才）

1. サントリーホールで黒ネコのタンゴを歌うことです。実現して嬉しかったです。
2. 眠かったことです。最後まで寝ないで頑張りました。
3. サントリーホールは広くてびっくりしましたが、出られて嬉しかったです。
4. ありません。
5. また、すすかけ児童合唱団として歌いたいです。
6. 嬉しかったです。（本人）
大変見応えがあり、素晴らしいコンサートでした。是非また拝見したいです。異国の子どもたちが音楽で一つになれる事は感動です。娘が参加させていただき感謝しております。次回は、もっと友人知人を誘うつもりです。ありがとうございました。（親）

■石神井学園の子どもたち

1.

- 全部とCHIJケロックの友だちにあえること。実現してよかった。
- メイクをすること。でも、できなかった。
- シンガポールの子達と会うのが楽しみだった。
- はじめをやってないのでわかりません。
- なし。
- みんなでダンス、歌をするのが一番たのしかった。
- はい。それはみんなとの交流の時間があったこと。
- 舞台の上に立つこと。有名人になった気分を実現しました。
- シンガポールの合唱団の女の子の中のアリサ？と再会実現した!!また会いたいな。

2.

- 英語かな？ あと、ふりつけ。
- 歌うこと。
- 練習に出てなかったから、ふりつけや歌をアドリブでやったこと。
- ふりつけ
- サントリーホールがあつかった。
- ダンスの手をふるところが大変だった。
- ないです。何故なら、楽に公演できたら。
- うたの大きさとダンス。それはまじめにやりました。
- 一番大変だったこと：小さい子ばかりの中で練習。努力したこと：大きくうたうこと。

3.

- 願ってたこと（友だちに会うこととか）が実現できたこと。
- 本園の人たちやチャイルド・エイド・アジアの人たちともなかよくなれたのでよかったです。
- 色々な人と会えたこと。
- 歌がきれいにうたえてよかったです。
- ネックオーマをもらえてよかった。
- みんなががんばっていて、参加していてよかったとおもった。
- 凄く大きいホールだったこと。食事が美味しかったこと。
- 舞台の上に立てた事。そして、たくさんの人にふれあえた事。
- 1年ぶりにアリサと再会。まりっぺにもあえた。リトル・クリエイターズの人とまた会えた。

4.

- なし。
- 練習に行けるようにすればよかった。
- もっとみんなにみえるようにすればよかった。
- ありません。
- もっとでかくうたえばよかった・・・。
- ちゃんと小さい子たちをまとめなきゃいけなかった。

5.

- 声優？ あのこの人（MC）をやりたい。
- もっともっとキレイなドレスを着て、メイクして会をしたい。
- 楽器などひきたい。
- わからない。
- また同じみたいな事をしたいです。
- もっと交流したい。
- もっとでかいこえでうたうのと、司会やってみたいです。
- オープニングとエンディングの出演。それ以外の出し物はむずかしいかも。年れい広くてまともなそうなので。また、シンガポールに行ける子がいるなら、その子たちのシンガポールであった事をレポートしてみるのもおもしろいかも。自分もシンガポールに行った時のことをレポートするならできるきがする。

6.

- 友だちに会えたこととか、すべてがよかった。またやりたい。ぜっっっっったいやりたい。てか、させてください。
- うまく歌えたり、友だちがふえたので楽しかったです。
- わからなくて大変だったけど、楽しかった。でも、次は練習にでたい。
- うたが、きれいにうたえたり、そのほかにも、みてたのしいし、ほかの人もうまかったです。たのしかったです。
- 本番はまちがえずにできてうれしかったです。
- とにかく凄く楽しかった。
- たくさんの人にふれあえて、楽屋というすごい所にも入れてたのしかったです。次回もい参加したいです。
- また参加できる確率は低いけど、また見に行きたい。いろんな人にあいたいな。もっと、シンガポールの子だけじゃなく、出演者の子ども全員であそんでみるのもいいかも。友だちふえそう。

シンガポール

■ コレイ・コー（ボーカル、11歳）

1. きちんと計画されている企画に参加するので、特に期待していたことがあった訳ではありません。そして日本食も日本の人も好きなので、何も心配していませんでした。一つ上げるとすれば、話に聞いていたサントリーホールで公演できることを楽しみにしていました。僕の期待以上のホールでした。美しく、アコースティックでため息が出ました。すごい！また将来、サントリーホールに戻ってきて公演が出来れば嬉しいです。
2. 一番大きな問題は学校を休むことでした。特に今年は僕にとって国内統一試験の年でしたので。学校が始まる寸前だったことは幸運でした。つまり、この休みはとても価値ある素敵なものになりました。僕が経験したことは本当に価値がありお金では買えない物だと思います。もしまた学校を休んでも参加するかと聞かれたら、今回と同じ決断をすると思います。
3. この素晴らしい経験を別にすれば友情を築けたことが一番でした。新しい友だちが出来ました。例えば鈴木雄司君とそのお友達やお父様。それにフリオ・レティック君、克己君、純華さん。三味線とササンドのことも知りました。またこんなに早く新井龍飛君と再会できるとは思いませんでした。シンガポールで龍飛君が演奏して以来僕たちはよい友だちで、少し言葉の壁はありますが、それは特段問題にもなりません。シンガポールの出演者ともとても親しくなり、ソーシャルメディアでつながっています。これを書いている数日前に旧正月を迎えた所なのですが、僕の家ではその間東京での経験の話で持ち切りでした。僕たちはこのソーシャルメディアグループを「東京サムライ」と読んでいます。東京での経験がどんなに素敵だったか、お分かりいただけると幸いです。
4. 時間に制約があったとは思いますが、夜もう少しゆっくり休めて、朝もそんなに早く起きなくてよければよかったです。これはボーカリストの視点からの意見です。よく眠らないと声に影響するからです。
5. 僕は日本が大好きです。とても美しい国だと思います。CAA はとても意味ある企画です。CAAに参加するまでは日本に恵まれない子どもがいるとは考えてもみませんでした。この経験によって視野が広がりました。ボーカリストとしては、CAAのようなチャリティーの企画があれば、また日本に帰ってきて参加したいと思えますし、コンペにも参加したいです。10月の大阪国際については熟考しましたが、時期的に統一試験の直後になります。最低年齢にも達していませんし、練習時間が十分とれるかも不安です。
6. 旅そのものは、とてもすばらしいものでした。両親も同行できたことがよかったです。僕の家族は、リハーサルのときに劇場に入れてくれて写真を撮らせてくださったことに感謝しています。僕の小さな希望は、参加証明のようなものが頂ければということです。そうすれば、それを学校や先生、友人や家族に見せることができるからです。家族を代表して、日本やシンガポールのオーガナイザー、そしてこの企画に携わったすべての人に感謝を申し上げます。

■ パン・レイ・ユウ（ピアノ、10才）

1. はい、とてもよく計画された旅だったと思います。観光やお買い物やリハーサル。（観光やお買い物やリハーサルが出来ればとおもっていたので、全部出来て嬉しかったです。）
2. 観光やお買い物をした同じ日の夜でもちゃんとリハーサルができました。リハーサルの前にバスの中で眠れたのがよかったのだと思います。
3. 素晴らしい経験をして、新しい友人に出会い、日本に行けたことです。日本には初めて行きました。

4. 最高の演奏ができたと思います。
5. もっと他の国の子どもたちと今回のようなコラボレーションが出来ればと思います。
6. この旅はとてもよかったと思います！アレルギーのことにもとても気を使っていたきました。楽しくて忘れがたい日本への旅でした。

■ アナーニャ・ラヴィシャンカ・ディッドプール（ボーカル、13才）

1. 初めて日本に行ったので、どんなふうになるのか十分に理解していた訳ではありません。沢山の人から、親切な人がいる素敵な国だと聞いていましたが、まさにその通りでした。出発前にサントリーホールのことをインターネットで調べました。写真はすごく素敵でしたが、実際に舞台上上がったときホールの美しさと気高さに驚きました。総じて日本は私の想像以上でした。また訪れてみたいです。
2. 一番大きな挑戦は準備です。寒い気候の中でちゃんと声が出せるよう気をつけました。シンガポールという暖かい所で歌うことになっているので、こんな経験は初めてでした。また時差がどんな風に私の声に影響をすることかと思いましたが、皆さんが助けてくださって励ましてくださったので、時差すら感じることなくすぎました。つまり、すべてうまく行ったという感じですよ！
3. 一番よかったのは新しい友人に会えたことです。願いが叶った、と思います。素敵だったのは、コンサートの日、才能ある日本の出演者と楽屋が一緒だったことです。シンガポール人は私だけだったのですが、独ぼっちとはまったく思いませんでした。母と私はとても歓迎されて、同じ言葉を話せなくても、通じ合うことができました。お互いに助け合えたり、折り紙でつるの折り方を教わりました！私の経験がよりよいものになるように、皆が助けてくれたと思います。また会えるといいなあ。チャイルド・エイドに参加できたことも嬉しかったです。素晴らしい企画だと思うし、世界にこのメッセージを届けられれば幸せです。そして、妃殿下が私の声が素敵と仰ってくださったと聞き、言われたときは本当に嬉しかったです。
4. 日本語を勉強しておけばよかったと思います。そして今度日本へいく時の目標はこれです。また、日本で出会った才能ある人たちにとっても感化されました。アーティストとして、新しく学べる機会をいつも経験として活かそうと思いますし、進歩できるように頑張ります。私のチャイルド・エイド経験は、建設的な意味で、私のパフォーマンスに集中することや自分を客観的に捉える助けとなりました。
5. また CAA に出演する機会を与えられるのなら、何であれ歌いたいです。日本語で何かを歌ってみたいと思います。そうすれば観客にも届くでしょうし、日本の人と一緒に歌うことも素敵だと思います。
6. すべてスムーズで楽しく、皆とても楽しかったです。ものすごく貴重な経験になりました。いろいろな学校や施設を訪ねて小さな子どもたちに会ったことも嬉しかったです。（可愛い！！）最後の日の交流会は本当に楽しかった！もし、もう一度全く同じことをするとしても、やりたいです！！！！

■ オン・イ・ティン（フルート、10才）

1. 沢山リハーサルがあるものだとおもっていましたが、でも、面白いところを訪ねたりしていて、これ自体は実現しませんでした。
2. 正しいサウンド・バランスをとることです。

3. 沢山の友だちにあって、サントリーホールで演奏して、資金集めに協力したことです。
4. 日本語の話し方を学ぶためにもっと日本人の友だちをつくれればよかったです。
5. もっとチャリティーコンサートで役に立ちたいです。
6. スケジュールはちょっときつかったけれど、コンサートもいろいろな所を訪ねたのもとても楽しかったです。

■ ショウン・ロー（ピアノ、アニマト・クワッドのメンバー、16才）

1. 共演者がシンガポールにいない人もいたので、リハーサルがいくつも入るだろうと考えていました。またリハーサルのために、それほど東京をまわる時間もないだろうと思っていましたが、その通りでした。
2. 出演者同士がコミュニケーションを取りにくいことが仲間意識を作る障害になったと感じた。（例えば、僕たちは日本語がわからないので、日本人の子どもの何人かとは本当のところ交流が出来なかった。）
アニマト・クワッドとしては、特にサントリーホールでのリハーサルにおいては、リハーサルできる場所を探すのが難しかったです。僕たちの楽屋にはピアノがなかったので、ピアノを使うために待つ必要があり、リハーサルの時間も短かったです。
フルートの歌音さんとの共演についていえば、僕自身が演奏を仕上げる稽古時間が十分にもらえなかったことが挙げられます。仕上げるのに1週間しかなく、日本に行きたった2日にピアノの先生に見てもらえるだけでした。それでも毎日、時には3時間以上も稽古をして間に合わせようと頑張ったことには意義がありましたし、結果ギリギリ間に合ってコンサートで演奏できホッとしました。
3. 僕にとっては海外で演奏できたこと、しかもアジア随一のコンサートホールで演奏でき、とても名誉に感じています。またチャイルド・エイド・アジア 2014 が石神井学園に暮らす沢山の恵まれない子どもを助けていると知りとても嬉しく思いました。僕の努力（アニマト・クワッドの努力）が、巡り巡って、人生を楽しむべき他の子どもたちの人生に関わっているかと思うと、嬉しい限りです。
また沢山の才能ある人たちと巡り会えて嬉しく思っています。（シンガポールのチャイルド・エイド 2013 に参加していた）代表団がこの旅を通じて一段と仲良くなったことが僕たちの士気を上げました。（2月9日に再度集まりました。）バス移動の最中（意思疎通をして、笑って）に仲間意識も深まり、忘れられない旅になりました。
4. リハーサルにもっと熱意をもって取り組むべきでした。予行の間中、よく眠れず、リハーサルになると眠くなっていました。オープニングとフィナーレの練習のときには、もっとエネルギーを注ぎ込んで、精神力で乗り切るべきでした。
それから『輝く明日へ』をもう少しまじめに勉強しておくべきでした。ちょっとやっただけだったので、ほとんどロバクでした。
5. ソロで演奏するか、ソリストと共演してみたいです。あるいはアニマト・クワッドとして他の8つの手で演奏する曲をコミカルに弾くことも出来ると思います。
6. これは「出張」ではありましたが、東京を見て回る十分な時間があればよかったですと思います。買物や観光の時間が短すぎると感じました。（横浜中華街では40分しかありませんでした。）その点では残念でしたが、チャイルド・エイド・アジアをよいコンサートにするという大きな目標は達成できたので満足しています。

■ マーク・ネオ（ピアノ、アニマト・クワッドのメンバー、15才）

1. 日本へ行く前には、グループで最高の演奏をして、新しい友だちに出会うことだけを期待し

ていました。その両方ともがかない嬉しく思っていますし、旅もとても楽しいものでした。僕の演奏の目標の一つはお客様に笑顔で帰途についてもらうことだったのですが、お客様はとて喜んでくださったように思います。人生とはちょっとした楽しみとユーモアがあればずっとよくなるものだ、と考えています。

2. 一番大変だったのは僕たちのグループにはチャンスが一度しかない、本当に僕たちの演奏をちゃんとまとめて無茶苦茶にはしてはいけない、ということを中心に留めておくことでした。また日本の人たちは僕たちの演奏を好まないのではないかと、最初のリハーサルの後、心配で挑戦だなと感じていました。
3. 知らない人に出会い、僕や僕のグループが恵まれない人たちを助けていると知ったことにとっても満足を覚えましたし、やりがいのある経験をしたと感じました。そしておそらくチャイルド・エイド・アジア 2014 に参加したことで、またどこかで公演するチャンスが生まれるでしょうし、そうなるといいなあと思っています。今回の経験すべてが謙虚になることを教えてくれましたし、一生懸命やったという事実が僕をとっても幸せにしてくれました。
4. 僕も僕のグループももうちょっとまじめにリハーサルに取り組むべきだったと思います。そして将来もっと素晴らしい演奏が出来るようになるための学びの場とするべきだったと思います。
5. 演奏することはとても楽しいので、また演奏するチャンスがあればと思います。疲れてストレスだと思ふ瞬間もありますが、一つの演奏を完成させることや最前の努力を尽くすことは人として素晴らしいことだと思います。
6. もっと長いたびにしてください。そうすれば日本をツアーしてまわれるのに。(ははは) アクラ、皆さん、どうもありがとうございました。忘れがたい貴重な経験でした。

■ ルーク・ウォン（ピアノ、アニマト・クワッドのメンバー、16才）

1. 日本に行く前はきっと楽しいだろうし実豊かな経験になるだろうと思っていました。が実際に言ってみると期待以上で、シンガポールから行ったチャイルド・エイドの仲間と親しくなっただけではなくて、日本にも新しい友だちができました。
2. 日本に合うように演奏を変えることが一番のチャレンジでした。例えば、東京では舞台の横からも観客が見ることになると思っていたので、そのようにアレンジをしていました。
3. 友情がめばえ、絆が深くなり、ひとつのグループになったことです。
4. 演奏の最後にもっと面白いアクトを付け加えることができたかもしれません。そうすればもっと面白い印象になったでしょうし、演奏が突然終わった感じが無くなるからです。
5. また同じメンバーで演奏したいです。でも、新しくてもっとユニークなものを演奏したいです。
6. 全体稽古をもっと早く始めた方がよいと思います。例えば、オープニングとエンディングの曲をコンサートの前日に始めて知って、コンサート直前まで勉強しました。振り付けもちゃんと覚えていない出演者もいました。

■ ジョナサン・タン（ピアノ、アニマト・クワッドのメンバー、17才）

1. 日本に行く前は、日本で公演するということが自体が幸せなことで夢が叶ったので、それ以上特に何も期待せずにいました。とはいえ、学校の修学旅行のように、面白くもない文化交流

をして、楽しむことすら不可能な徹底したリハーサルがあるんだろうな、と考えていました。ところが、日本に着くと、日本文化を学ぶだけでなくものすごく楽しくて、すっかりそんな懸念は失われました。正直、たった6日間の旅行がこんなに楽しいものになるとは思いませんでした。:D

2. 稽古が一番のチャレンジでした。コンサートのための稽古を4人で時間を調整して会って練習する必要があったので大変だったのです。でも、個々人がきちんと練習をしてきたため、それぞれが自分のパートがとてもよくわかるようになり、結果的にグループとしての音楽、あるいはエンターテイメント的価値を向上させることができました。
3. チャイルド・エイド・アジアに参加して、視野が広がったり、日本人出演者との交流もできました。勿論日本文化にも興味が出来ました。いつもはシンガポールの限られた空間にいるのですから。
4. この旅行中、僕は年長者の独りだったので、成長するために独り部屋だったことを考えると、もっと積極的に参加をしたりオーガナイザーを助けたり、年少の出演者を世話するべきでした。
5. また出演できるなら、ピアノ芸術にコメディを添えるだけではなくて、アニマト・クワッドの面白い即興やシンガポールの特性も出して日本との交流に意味のあるかたちで公演したいです。
6. この旅は短かった！とても楽しくて、シンガポールに戻りたくなかったです。こんなに素晴らしい意味のあるコンサート、旅行を企画したチャイルド・エイド・アジアのプロデューサーやオーガナイザーの皆さん、素晴らしかったです！！

■ エイデン・テオ・マサ・トシ（チェロ、11才）

1. 日本や他の国やシンガポールの色々な人に会って、友だちを作りたいと思っていました。また、ピアニストと練習をして、その結果、練習やサントリーホールで演奏することで、いつも独りで練習しているのとは違って、力をつけることになると考えていました。これはすべて実現できました。日本文化をこれほど勉強することになるとは思っていませんでしたが色々学びました。防災センターや学校を訪問したのは、とてもユニークで忘れがたい思い出です。この旅が音楽と文化を学ぶ素晴らしい旅になったので、僕が音楽家としてだけではなく、人としても成長できたと感じています。
2. 僕のチェロの音をホール中に響かせ、今までないほど大きい音で演奏することでした。
3. チャイルド・エイド・アジアの雰囲気大好きです。皆とても仲良しで、助け合い、親切です。お互いにうまくできるように祈っていました。素晴らしく、影響し合え、居心地のよい環境で、家族のような感じがしました。
4. サントリーホールの音響が大好きなので、もっと大きな音で弾けるようになりたいです。マイクをとおすと僕のチェロの音はどうだったのでしょうか。きちんと僕の音でサントリーホールを響かせたいです。もっと技術的な練習をして、フルサイズのチェロを演奏できるようになるのが楽しみです。
5. 他の日本人演奏者と日本の伝統的な曲を演奏してみたかったです。そうすれば、それを家で祖母に披露できたので。いつかそうなるようにと願っています。それから日本のチェリストにも会って一緒に演奏したいです。
音楽を演奏することは僕にとってとても心地よく楽しいので、是非他の人にも音楽に触れて

ほしいと思いますし、僕がその助けになればと思います。チェロを始めたばかりの人や、やってみたくて思っている人、楽しいのでこの先どう練習をしたらいいかと思いつている人たちと一緒にやりたいです。

6. 素晴らしい経験をしました。招聘していただいて、またこんな豊かな経験をさせていただいて感謝しています。

■ ディネイッシュ・ラジェンドラン（司会、リトル・アーツ・アカデミー所属、10才）

1. 日本は寒くて雪が降るかと思っていたのですが、雪は降りませんでした。
2. 台本を暗記することです。そして台本が変わるともう一度暗記し直すのが大変でした。
3. 初めての海外旅行で飛行機に乗ったので、嬉しくはありませんでしたがドキドキしました。
4. ありません。
5. 今度はシンガポールのチャイルド・エイドにも参加したいです。
6. 僕の人生で最高の出来事は日本に行ったことです。コンサートは最高でした。

マレーシア

■ ゴー・ウェン・チー（チェロ、13才）

1. 詳細がどうなっているのかよく分かっていませんでした。チェロのアンサンブルとかオーケストラで演奏するのかと思っていました。ですから驚きでした。エンジェル（僕の音楽の先生）がチャイルド・エイド・アジアをちゃんと理解していなかったのだと思います。
2. 言葉の壁。通訳がないところで、他の2人の共演者と一緒だと、途方に暮れることがありました。
3. すべてのプロセスがとっても楽しかったです。でもお客様の拍手が一番嬉しかった・・・僕にとって拍手は、お客様の評価の表れです。拍手が僕が一番楽しいと思っていることを続けることを後押ししてくれているのです。
4. 特にありません。チームの一員として、もっと上手に演奏できたかもしれませんが・・・
5. チェンバーのメンバーとして演奏したいです。たとえばカルテット。あるいはもっと大きなアンサンブルでも、オーケストラでもいいかもしれません。
6. リハーサルについていえば、ちょっと整理が付いていなかった感じです。また出演者の舞台の出入りが、のろのろしていた気がします。舞台監督が機能していなかったです。

インドネシア

■ フリオ・ホスア・レティック（ササンド、14才） *保護者記入

1. 出発前にチャイルド・エイド・アジア2012の映像を見たので、質の高い素敵なコンサートになるだろうと想像していましたが、まさにその通りでした。
2. このイベントに参加するにあたっての困難は以下のようなものでした。

- a. 日本行きに関して100%の支援を受けることができず、クパンから（ビザを受け取る地）バリそしてジャカルタへの飛行機代とジャカルタからクパンへの帰国の便は自分たちの基金を使うことになりました。
 - b. オーディションをしてから日本へ出発するまでの時間が短かったです。元インドネシア国内に必要な資金については自分たちで、ということで同意していましたが、結果的にイギー（インドネシアのコーディネーター）がスポンサーを見つけられなかったため、日本への往復の旅費も自分たちで資金を探すことになりました。ぎりぎりでもフリオが日本に行けない可能性があったのです。
 - c. スケジュールがきつかったことや、日本に行くかどうか曖昧になったり、日本領事館の休暇が長いことがあり、もし仰子さんの助けがなければ、ビザを取得することが出来なかったと思います。もし将来、またフリオがチャイルド・エイド・アジアに参加できるのであれば、6ヶ月くらいの長い準備期間を頂きたいと思います。
 - d. オーディションに受かって100%フリオを支援するとの同意が出来ていれば、出演者としてフリオが資金集めに巻き込まれずにすんだと思います。インドネシアで一番貧しいヌサ・トゥンガラ・テンガ州のクパンのようなところで資金を集めることは困難で、政府や企業などから支援を受けることも難しいです。チャイルド・エイドのようなイベントに参加することに政府や企業は価値を置いていないのです。こういうことは通常個人の篤志家によって可能になります。
3. 日本のチャイルド・エイド・アジアに参加して嬉しいと思ったことは、
 - オーガナイザーや観客に暖かく迎え入れられたこと。
 - 紀子妃殿下にご臨席賜り、お目にかかれて、フリオが演奏したササンドに関して妃殿下のお言葉を頂戴できたこと。
 - ホテルのお部屋が素敵だったこと。
 - リハーサルの雰囲気も場所も熱気があったこと。
 - 会場が素晴らしかったこと。
 - 司会もコンサートそのものも、とてもプロフェッショナルだったこと。
 - 東京の街が美しかったこと。
 - コンサートそのものが楽しく、質が高く、目を見張ったこと。
 - TVのインタビューを受けたこと。
 4. 2年前からササンドを演奏するようになって参加した中で一番素晴らしい公演がチャイルド・エイド・アジアでした。将来チャイルド・エイド・アジアや他のイベントに参加する時はもっと一生懸命リハーサルに取り組みたいです。
 5. チャイルド・エイド・アジアで演奏をしたので、同じような質のイベントにインドネシアや他の国でも参加したいと思います。もっとササンドも練習してレパートリーを増やし、もっとお客様に喜んでもらえるようになりたいです。
 6. コンサートは最高でした。あともう一日時間があって、出演者やオーガナイザーと交流したり、日本の他の場所を訪ねることができれば親戚や友だちに、初めて訪れた日本という国がどんなに素敵だったか話せたのに、と思います。

福島子どもツアー ～ゲンティン・シンガポール社協賛～



『チャイルド・エイド・アジア 2014』には、福島県相馬市、南相馬市の子ども 24 人とボランティアの引率者の学生、大人 8 人を招待しました。

東日本大震災が起こってすでに 3 年近くが経つというのに、放射能の影響で屋外では遊ぶことができません、口にすることも気を使い、また様々な事情から家族とともに他県などへ引越す学友が少なくないこの地域の子どもに、少しでも楽しい思いを、そして同じくらいの年の世界の子どもがどんなことをして助け合っているか見てもらおうと企画されました。予算の都合で一旦は断念された企画でしたが、ゲンティン・シンガポール社のご理解とご援助をうけて実現にこぎつけました。1 泊 2 日の東京への旅は少しタイトなスケジュールではありましたが、コンサートの他にも、東京タワーやナムコ・ナンジャタウンへ行くなど、みんな楽しい時を過ごすことができたようです。

私たち NPO リトル・クリエイターズは、2012 年には、いわての学び基金への寄付、福島市でアート・ワークショップを開催、2013 年には福島市のダンスチームを『チャイルド・エイド・アジア 2013』に招聘。その他にも、相馬市や南相馬市の子どもを対象とした国際交流活動を応援しています。今後も、東日本大震災で被災した子どもへの支援を続行していきますよう努力して参ります。



旅行行程

- 1 月 11 日 南相馬出発 → 福島 IC で昼食 → 東京・芝公園 →
東京タワー見学 → 夕食 → 『チャイルド・エイド・アジア 2014』
鑑賞 →
朝陽館宿泊
- 1 月 12 日 朝陽館 → ナムコ・ナンジャタウン、昼食 → 南相馬へ

学校、児童養護施設交流事業

～チャイルド・エイド・アジア 2014 にあわせて開催された交流会～

- 1) 横浜雙葉小学校 X CHIJ(Kellock) X CHIJ(Katong) X Little Arts Academy
主催：横浜雙葉小学校 協力：NPOリトル・クリエイターズ
日時：2014年1月8日 10:30-14:00
交流内容：合唱、給食、演奏

- 2) 大田区立新井第五小学校 X CHIJ(Katong)
主催：大田区立新井第五小学校 協力：大田区観光課
日時：2014年1月9日 9:00-10:30
交流内容：ダンス、合唱、羽子板、書道

- 3) 大田区立道塚小学校 X CHIJ(Kellock)
主催：大田区立道塚小学校
協力：大田区観光課
日時：2014年1月9日 9:00-10:30
交流内容：演奏、合唱、日本舞踊、ゲーム



- 4) 田園調布雙葉小学校 X CHIJ(Kellock) X CHIJ(Katong)
主催：田園調布雙葉小学校 協力：NPOリトル・クリエイターズ
日時：2014年1月9日 11:00-14:30
交流内容：合唱、ダンス、給食、グループ交流

- 5) 児童養護施設東京都石神井学園 X CHIJ(Kellock) X
CHIJ(Katong) X Little Arts Academy
主催：東京都石神井学園、NPOリトル・クリエイターズ
日時：2014年1月12日 13:30-15:00
交流内容：ダンス、合唱、羽子板、コマ回し



- * CHIJの2校は、シンガポールの女子小学校で雙葉学園とは姉妹校。
- * Little Arts Academyは、どんなアートの才能も環境故にその芽を摘まれてはならないと未成年を対象に活動するシンガポールの組織。放課後や週末に恵まれない子どもは無償で、裕福な家庭の子どもは授業料を払ってアートの授業を受けている。

『チャイルド・エイド・アジア 2014』 福島子どもツアー 感想より

- ◎ このたびは、このような企画に参加させていただきありがとうございます。
ChildAid Asia Tokyo 2014 では、同世代の子どもたちが堂々と歌ったり演奏したりしてとてもすごいなと思いました。たくさん練習して完成する舞台だなと感じました。また見てみたいです。
旅館は、歴史を感じさせる所でした。友だちとたくさんはなせてよい思い出ができました。次の日に行った「ナンジャタウン」では、もののけ探検隊などで遊びました。こわかったけどみんなで楽しく遊べました。
1泊2日の旅行で友だちの大切さを実感できました。同世代の子どもたちがこんな大きなことを大人のようにやっけてすごいな、私も小さいことでもがんばろうと思いました。また、このような企画があったら絶対に行きたいです。本当に有り難うございました。
- ◎ 友だちにさそわれて、今回のツアーに参加しました。
まず、東京タワーに行きました。とても高く景色がとてもきれいでした。その次に、チャイルド・エイド・アジア 2014 を見ました。歌を発表した人は声がすきとおっていて、とてもきれいでした。ピアノ、フルートなどの楽器を演奏していた人は、みんな間違わずに演奏していたし、指が細かく動いていてすごいと思いました。
旅館では、みんなで楽しくはなせて、気持ちよくなることができました。なんじゃタウンでは、みんなで楽しく遊んでおいしい物を食べました。
2日間というとても短い間だったけれど、とても楽しかったです。このツアーを企画してくれたみなさん、本当にありがとうございました。
- ◎ 今回は、リトル・クリエイターズの福島子どもツアーに参加できてとても楽しかったです。なかなか東京へ行く機会がないので行けてよかったです。1日目の東京タワーには初めて行きました。展望台から見ると東京の町が小さく見えました。高い所から下を見ると、小さかったけれどテレビなどでやっている有名な建物が見えました。夜にはメインのコンサートをしました。日本やシンガポールなどの国の人が一緒に歌ったり、楽器を演奏したり色々なパフォーマンスを見せていました。歌では合唱団の人たちが、とてもきれいな声で歌を歌っていました。外国語で分からない歌でも気持ちが伝わってきました。1人で歌っている子どもも声がきれいで、力強い歌声でした。合奏ではみたことのない外国の楽器や色々な楽器のコラボがありました。どの演奏も心に残りました。旅館に泊まった次の日は、ナンジャタウンに行きました。みんなと一緒にたくさんの乗物に乗りました。おばけやしきでは、途中で色々なおもしろいアトラクションに乗りました。この1泊2日の旅行は、すごく思い出に残りました。
- ◎ このような機会を作ってくださいありがとうございます。
私は東京タワーに登ったのも初めてだし、子どもが主役のコンサートも初めてだったし、ナンジャタウンにも初めて行ってきました。全部、初めての体験でした。
東京タワーはとても高く、最初はびくびくしていました。どんどん登って行くと、どんどん緊張してきました。エレベーターをおりて、景色を見てみると、そこはとってもきれいでした。
子どもが主役のコンサートは、私より小さい子たちや、同じ年の子や、上の子や、色々な子どもたちが、きれいな音色でピアノをひいたりしてびっくりしました。
ナンジャタウンでは、いろいろなアトラクションがあって、とても楽しかったです。本当にこのような機会を作ってくださいありがとうございました。

- ◎ 私はリトル・クリエイターズの福島の子どもツアーに参加をして、とても楽しい2日間になりました。
1日目の東京タワー見学では、東京のきれいな風景が見られてとてもうれしかったです。
夜のチャイルド・エイド・アジア2014のコンサートでは、とても心がリフレッシュされました。とても楽しかったです。
2日目のナムコのナンジャタウンでは、もののけ探検隊というアトラクションは少し怖かったです。またナンジャタウンに行きたいです。
この2日間お世話になった方々にはとても感謝しています。またこのようなものがあれば、ぜひ、参加したいです。2日間、本当にありがとうございました。
- ◎ わたしは友だちと初めて参加しました。緊張のドキドキと、楽しみのワクワクの気持ちでいっぱいでした。
チャイルド・エイド・アジアのコンサートを見て、私と同じ小学生が歌を歌ったり、楽器を演奏したり、とても上手でした。大きなホールで発表することに感動しました。私は、人前で緊張してしまてできないので、すごいなあと思いました。
2日間はあっという間に過ぎてしまったけど、東京タワーの展望台からながめた景色もすごかったし、ナムコ・ナンジャタウンで、ゲームをしたりプリクラもとりました。
旅館でみんなでお風呂に入って、蒲団をならべて寝たことも、良い思い出になりました。とても楽しかったです。また行きたいです。
- ◎ 私は今回ツアーに初めて参加しました。1人で参加するのは初めてでしたが、東京へ行くと決まってとても楽しみでした。
サン・ライフからバスに乗って6時間ぐらいで東京に着きました。東京に入った時、スカイツリーやレインボーブリッジなどが見えました。最初に東京タワーに着いた時、東京タワーをあまり近くで見たことがなかったので、すごく大きいことに気がきました。初めて展望台にのぼって楽しかったです。
次に行ったコンサートでは外国の子どもたちの音楽をききました。私もピアノを習っていたことがあるので、とても興味がありました。みんなとても上手で感動しました。
寂しい気持ちよりも、友だちと過ごす時間の方が楽しく思えました。今回このツアーに参加して、とても自分に自信がつかしました。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。
- ◎ 年末のチアの交流会に続き、チャイルド・エイド・アジア2104に参加できたことがとてもうれしいです。ありがとうございました。
今回は子どもが主役のコンサートということで楽しみにしていました。実際聞いてみると、私の想像以上のコンサートで驚きました。一番印象に残っているのは、私より年下の金井理乃さんが、自分で作詞、作曲をして歌っていたことです。すごいなあと思いました。日本だけでなく、シンガポールやマレーシア、たくさんの人たちから元気をもらいました。私も色々な面で頑張り、世界中の人に元気をとどけたいです。
- ◎ コンサートでいい経験ができました。特に一番印象に残っているのはシンガポールの合唱団の方々です。ほかにも私は現在、吹奏楽をやっているのので、フルートの演奏なども心に残りました。パーティーはバッジをもらったり写真を撮ってもらったりしてとても楽しかったです。
ほかに、東京タワーから見えた景色もとてもきれいでした。
初めて行ったナンジャタウンではツアーで知り合った人たちとも遊ぶことができました。とてもいい思い出をつくることができました。ありがとうございました。

- ◎ 私は今回チャイルド・エイド・アジアへ初めて行きました。
最初に行った東京タワーでは、とてもきれいな景色を見ることができて嬉しく思いました。コンサートはすべてに驚きました。本当にあれが私と同じくらいの、もしくは私よりはるかに下の子どもなのかと目を疑いました。きれいな歌声や音色に心うたれ感動を覚えました。あんな小さな子たちがあんな素晴らしい演出をしているところを見たら、自分にもあんな何かしらの才能があるのではないかと自信がついてきました。本当にいいコンサートでした。翌日のナンジャタウンも、初めてだったのでとても楽しく、とてもいい思い出になりました。この度は大変お世話になりました。いい経験ができてとてもよかったです。本当にありがとうございました。
- ◎ 当日はサン・ライフ南相馬に9:00に集合して東京に出発しました。まず、東京タワーにいき、写真を撮り、中に入りノッポンをとりエレベーターにのり、上がりだしたら高すぎて気持ちが悪くなりはきそうでした。展望台からお台場が見えました。次にコンサートに行くと、中からでどこかわからなかったです。
2日目はナンジャタウン池袋に行きました。ナンジャタウンではマジカル学園で遊びました。マジカル学園では杖ではたかれました。でも楽しかったです。かとりハンターをやって楽しかったです。モンハンも楽しかったです。お土産を買う時間が長かったので、いろいろ買うことができました。
小学校最後のよい思い出をつくることができました。ありがとうございました。
- ◎ 当日は、サン・ライフ南相馬から東京に出発しました。まず、東京タワーの展望台に行きエレベーターが気持ち悪くなりました。特別展望台にも行き、東京の風景がとてもきれいでした。ゆるキャラのノッポンにもあいに行きました。次には、有名なコンサートにも行きました。子どもが主役のコンサートがあるのがとてもすごいと思いました。みんな歌がうまかったです。
2日目は、ナンジャタウンでは乗物はあまり乗らず、モンスターハンター4をいっぱいやりました。ナンジャタウンでは、お土産を買いに行きました。関東限定のお土産などを買いに行きました。
小学校最後の思い出ができました。ありがとうございました。
- ◎ 当日はサン・ライフ南相馬に集合して、東京に向けて出発しました。まず最初に東京タワーを見学に行きました。東京タワーを下から見ると、予想以上に高くてびっくりしました。東京タワーの中に行くと、ノッポンというゆるキャラがいました。東京タワーの展望台に行くエレベーターでは人がたくさん乗ってぎゅうぎゅう詰めだったし、高くて気持ち悪くなりました。東京タワー見学を終えると、バスで夕食をたべました。お弁当は美味しかったです。その後チャイルド・エイド・アジアのコンサートでは、自分より年下の子どもたちのきれいな歌やきれいな音色を聞いて感動しました。
2日目はナンジャタウンに行きました。ナンジャタウンではマジカル学園とかとりハンターという乗物に乗りました。その後アイスを食べてみんなでゲームをして遊びました。
またこのような機会があれば、また行きたいです。ありがとうございました。
- ◎ コンサートの楽器の迫力がありました。一番迫力があつたのは、バイオリンでした。僕も演奏をうまくしたいです。
- ◎ コンサートでは小3の作詞作曲をして歌った女の子がすごいと思いました。将来、作詞作曲はしないと思うけど、自分で何かつくるということを見習いたいです。ご招待ありがとうございました。

『チャイルド・エイド・アジア 2014』
福島の子どもツアー 保護者からのコメント

- ◎ この度はご招待いただきまして誠にありがとうございました。素晴らしい内容で、子どもたちも自分なりに感じ、それぞれの可能性を確認できたのではないのでしょうか。よい体験をさせていただきありがとうございました。
- ◎ この度は素敵なコンサートに招待していただいて心から感謝いたします。私の小学生6年生の息子と3年生の娘は、このような立派なホールで音楽を聴けたこと、それも自分の年と同じくらいのいろいろな国の子どもたちがその舞台に立って堂々と演奏していることに、とても驚いていました。たくさん練習しているんだろうなあ、すごいなあ、と、ただただ感心するばかりです。幸せなことに震災後、南相馬市の子どもたちはたくさんの方々に心配していただき、応援していただき、それぞれの将来に夢や希望をもてるようになりました。私の娘もバドミントンを始め、将来はオリンピックの選手になりたいという夢もっています。今回演奏していた子どもたちを見て、練習すれば夢が叶うと励まされたようです。私自身も、あんなに小さいのに（娘を含め）自分の夢を見つけて、それをひたむきに追いかけている姿を見て、私たち大人も夢をもってしっかり生きなければと教えられたようでした。子どもたちが主役のコンサートが、今後もずっと続いて、もっといろいろな国の子どもたちが参加し、やがてプロとして活躍してくれることを楽しみにしています。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。
- ◎ リトル・クリエイターズ 福島の子どもツアーに参加させていただきありがとうございました。コンサート「チャイルド・エイド・アジア 2014」を鑑賞し、言葉や文化の違いを超えて音楽を一緒に楽しむことができました。特に私の息子、娘はピアノに興味をもち「ギャロップ行進曲」では目を丸くして見ていました。そして一番印象に残ったようです。息子は年齢の近い出演者のすばらしい演奏に刺激を受け、帰ってきてからピアノの練習に気合いがはいっています。また、ツアーの中でお友達もでき、次の日のナムコ・ナンジャタウンも大変楽しませていただきました。南相馬市ではなかなか経験できないことを、ツアーをとおして経験させていただきありがとうございました。私自身、大変素晴らしいコンサートを鑑賞させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。そして、このツアーを企画し、支援してくださった皆様に感謝しています。ありがとうございました。